

【社会学専攻】

<卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）>

社会学専攻は、社会学および社会心理学、文化人類学の知識と方法ならびに問題意識を統合的に活用し、自立した市民および職業人として個人と社会のために協働できる人材の育成を目指し、以下のような卒業認定・学位授与の方針を定め、所定の要件を満たしたと認められるものに学士（人間関係学）の学位を授与する。

1. 社会学、社会心理学、文化人類学における主要な学説についての基礎的な理解ができていること。
2. 社会学、社会心理学、文化人類学のそれぞれの視点から、さらにはそれらを融合した視点から、人間、社会、文化にかかわる諸事象を捉え、分析し、説明する学問的成果を理解していること。
3. 質的・量的社会調査の方法を理解し、複数の方法を用いて資料の収集・整理・分析・解釈ができること。
4. 以上のような知識に加え、卒業論文コースの学生は、人間、社会、文化にかかわる諸事象の様々な側面を探求し、その探求の過程と結果について適切に表現することができること、卒業試験コースの学生は、社会学、社会心理学、文化人類学の学問的成果について、定められた一定基準以上の知識および活用能力を身につけていること。